

在宅生活で使える！ 福祉用具ガイド 特集にあたって

在宅リハビリテーションに携わる人間にとって、福祉用具の知識は必須のものであり、有用な技術のひとつです。適切な使用目的と使用方法により、即時的な効果が期待できますし、人的資源の投入と比較して総費用を低く抑えることができる可能性もあります。しかし、数多い福祉用具のすべてを詳しく理解することは困難です。そこで、身近な案内書が1冊あれば、われわれにとってはとても便利であり、在宅障害者の生活を支える役にも立つであろうと本企画を考えました。

各項目の具体的な用具については、執筆の先生方の経験に基づいて選択していただきました。したがって、必ずしも最新の用具が紹介されているとは限りません。むしろ経験ある執筆者が使い慣れた信頼性の高い用具が紹介されているというよいかもしれません。基本的な用具の概要、適応と選択、使用方法、利用可能な制度などはできる限り共通項目として記載していただきました。これらをベースとして、読者自身の馴染みの用具を確立していただけるとよいと思います。

最近のリハビリテーション関連学会では、ロボットの開発や使用経験に関する講演や演題発表が増えています。本特集で紹介されているさまざまな用具においても、各種のロボット技術が応用されています。しかし、今回の特集ではロボットそのものを前面に出すことは少なく、また急性期や回復期に機能改善のために利用されるような用具は含めていません。これらはまた別の特集などで扱っていききたいと思います。

本号は「総合リハビリテーション」誌における5年に一度の増大号です。前回の「リハビリテーションQ & A」（第40巻5号：2012年5月号）と比べると少し趣とボリュームが異なりますが、実用的であるという点は共通していると思います。リハビリテーション専門職や関連職の皆さんが、本誌をすぐに手の届く場所に置いて、日常業務の役に立つガイドとして利用していただけることを期待いたします。さらには、定期的に内容を見直して改訂版を発刊できるようになれば最高です！

「総合リハビリテーション」編集委員会